

第11回 学術大会（長崎）を終えて

2023年3月18・19日に第11回日本発達系作業療法学会の大会を開催させていただきました。本大会は講演、シンポジウム、演題発表、いずれも本当に素晴らしい内容でした。そのおかげもあり、533名のご参加をいただきました。講師、シンポジスト、演題発表の先生方、司会、座長の先生方に感謝です。そして、運営に携わったスタッフにありがたい気持ちで一杯です。業者を入れずにホームページ作成、オンラインでの運営ができ、大きな問題がなく終了できたのは、すごいことだと思っています。スタッフのおかげです。

あらためて、大会にご参加いただいた皆さん、運営にご協力くださった方々にお礼申し上げます。

次期大会長の黒澤淳二先生、来年よろしく申し上げます。

大会長 岩永竜一郎（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

大会1日目<2023年3月18日>



～開会式～ 大会長挨拶：岩永 竜一郎 理事（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）



～特別講演Ⅰ～

「自閉スペクトラム症および発達障害児とその家族に対するエビデンスに基づいた先進的な支援の実践」

講師：服巻 智子 先生（一般社団法人 誠智愛の会 Minds & Hopes）



～シンポジウム～

「障害児通所支援事業所で働く作業療法士の実状～根拠に基づいた実践を行うために福祉領域の作業療法士に求められること～」

シンポジスト：

(右上) 長谷川 朔子 先生 (社会福祉法人 長崎慈光園 こども発達支援センター ホープ)

(右下) 酒井 康年 先生 (社会福祉法人 からしだね うめだ・あけぼの学園)

(左下) 仲間 知穂 先生 (YUIMAWARU 株式会社 こども相談支援センターゆいまわる)

座長：

(左上) 鴨下 賢一 理事 (株式会社 児童発達支援協会リハビリ発達支援ルーム かもん)



～一般演題 A ～

座長：仙石 泰仁 理事 (札幌医科大学 保健医療学部)

大会 2 日目 <2023 年 3 月 19 日>



～特別講演Ⅱ～

「子どもと家族を中心とした目標指向型アプローチ Occupational Performance Coaching (OPC) について」

講師：Fiona Graham 先生 (University of Otago)

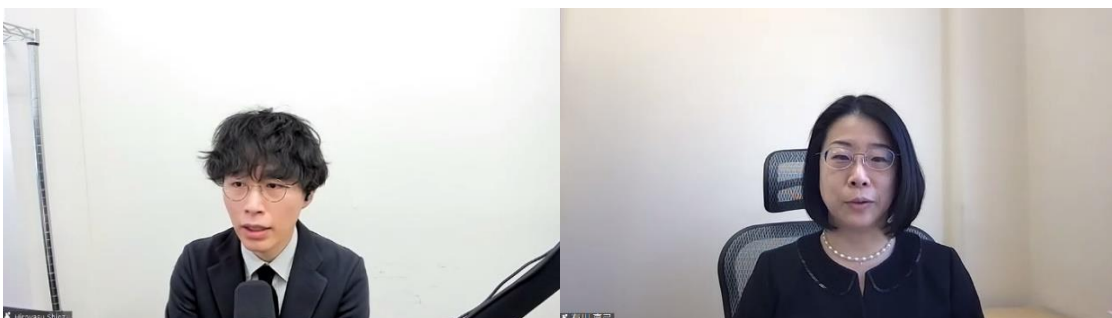


～特別講演Ⅲ～

「重症児に対する作業療法」

(左) 講師：辻 善城 理事 (大阪赤十字病院附属大手前整肢学園)

(右) 司会：加藤 寿宏 学会長 (関西医科大学 リハビリテーション学部)



～特別講演Ⅳ～

「CO-OP：日常作業遂行に対する認知オリエンテーション」

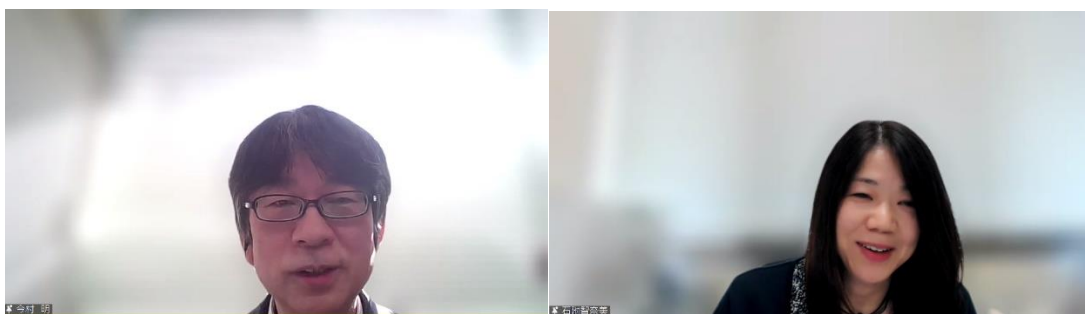
(左) 講師：塩津 裕康 先生 (中部大学 生命健康科学部)

(右) 司会：有川 真弓 理事 (千葉県立保健医療大学 健康科学部)



～一般演題 B～

座長：東恩納 拓也 幹事（東京家政大学 健康科学部リハビリテーション科）

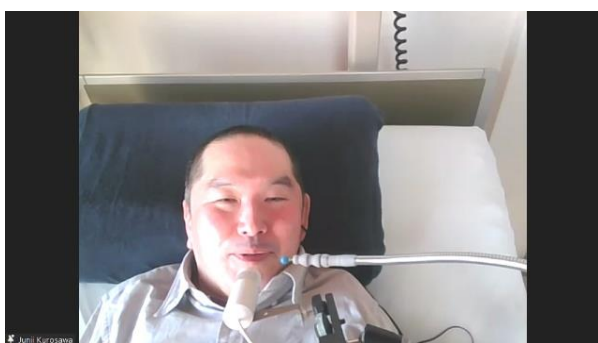


～特別講演 V～

「International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems
11th version(ICD-11)について」

（左）講師：今村 明 先生（長崎大学 生命医科学域）

（右）司会：石附 智奈美 理事（広島大学大学院 医系科学研究科）



～次期大会長講演～

「重度障害者になった作業療法士—そんな私も二刀流，ハイブリッドをめざします！」

講師：黒澤 淳二 理事（医療法人 ハートフリーやすらぎ）

第11回日本発達系作業療法学会



～閉会式～

(左) 大会長挨拶：岩永 竜一郎 理事（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

(右) 実行委員長挨拶：前田 航大 先生（社会福祉法人ことの海会ふわり諫早）

多数のご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。

次回、大阪学会（大会長 黒澤淳二理事）にてお会いできる日を楽しみに
しております。